



一般社団法人
日本スポーツツーリズム推進機構

目次



1. 事業一覧(抜粋)	2
2. SportAccord Convention 2020	9
3. 第8回スポーツ振興賞	10
4. SPORTEC 2020 /SPORTEC WEST 2020	20
5. 第9回スポーツツーリズム・コンベンション	22
6. スポーツコミッションに関する調査2021	24
7. JSTA 武道ツーリズム推進部会	28
8. 武道ツーリズム事業者に関するアンケート調査2020	30
9. スポーツ庁「地域スポーツコミッションの設立促進及び自立経営に向けた 総合コンサルティング事業」	39
10. 熊本県「熊本型スポーツツーリズム推進戦略に係る基礎調査 及び戦略案作成業務」	41
11. ヘルスツーリズム認証	42
12. JSTAウェビナー	45
13. 2020年度 JSTA会員一覧(法人・公益法人・自治体・スポーツ団体)	48

1 | 事業一覧（抜粋）



月	日	活動	場所
4	4月7日～5月25日 新型コロナウイルス感染症対策緊急事態宣言発令のため 事務局閉所及び活動自粛		
5			
6	8	第39回常任理事会	共同通信会館
	22	【講演】公益社団法人千葉市観光協会 総会(原田会長)	千葉県千葉市
	23	【スポーツ庁 SC 設立支援事業】笠間市打合せ(原田会長・中山事務局長・藤原)	共同通信会館
	26	2020年度定時社員総会	共同通信会館・オンライン
		2020年度第1回JSTAウェビナー	オンライン
	30	【講義】帝京大学経済学部観光経営学科旅行産業論(中山事務局長)	オンライン(録画)
7	1	【視察】銚子スポーツタウン「千葉ジェッツ・バスケットボールスクール」(中山事務局長)	千葉県銚子市
	2	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】ウエルネススポーツ鴨川打合せ(中山事務局長)	千葉県鴨川市
	3	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】松江市 WEB 会議(中山事務局長・藤原・滝田)	オンライン
	5-6	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】壮瞥町視察打合せ(中山事務局長)	北海道壮瞥町
	7	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】土佐町視察打合せ(藤原)	高知県土佐町
	7-8	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】大館市視察打合せ(中山事務局長)	秋田県大館市
	9	金沢市文化・スポーツコミッション打合せ(中山事務局長)	石川県金沢市

7	10	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】宝達志水町視察打合せ(中山事務局長)	石川県宝達志水町
		【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】泉大津市訪問視察打合せ(藤原・滝田)	大阪府泉大津市
	13	小山市教育委員会打合せ(中山事務局長)	栃木県小山市
		【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間市勉強会(中山事務局長・滝田)	茨城県笠間市
	15	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】宇陀市視察打合せ(藤原・滝田)	奈良県宇陀市
	27	鳥取県米子市 新体育館整備検討委員会(原田会長)	鳥取県米子市
	29	第 40 回常任理事会	オンライン
	30	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】松江市 WEB 会議(藤原・滝田)	オンライン
8	31	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】宇部市 WEB 会議(藤原・滝田)	オンライン
	4	【会議】沖縄県観光振興基本計画アドバイザー会議(原田会長)	オンライン
	5	【会議】名古屋市スポーツ戦略ビジョン有識者懇談会(原田会長)	オンライン
	11	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】宇部市勉強会(藤原・滝田)	オンライン
	12	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】矢板市打合せ(中山事務局長・滝田)	栃木県矢板市
	18	香川県庁交流推進部 オンライン打合せ	オンライン
	19	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】ウェルネススポーツ鴨川(中山事務局長・滝田)	千葉県鴨川市
	24	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間市勉強会(中山事務局長)	茨城県笠間市
	25	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】大館市関係者会議(中山事務局長)	秋田県大館市
	26	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】壮瞥町打合せ(中山事務局長)	北海道壮瞥町
	27	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】美唄市視察、札幌市スポーツ局打合せ(中山事務局長)	北海道美唄市・札幌市
	29	銚子スポーツタウン「ちば銚子熱中小学校オープンスクール」出席(中山事務局長)	千葉県銚子市

9	4	2020 年度第 2 回 JSTA ウェビナー	オンライン
	7-9	【講演】全国市町村国際文化研修所「スポーツと地域の活性化」(原田会長)	滋賀県大津市
	11	【会議】「沖縄県観光振興基本計画委員会」(原田会長)	沖縄県那覇市
	17	【講演】地方自治研究機構・自治振興セミナー(原田会長)	岩手県盛岡市
	24	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】大館市スポーツ庁訪問・打合せ(中山事務局長)	都内
	25	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】壮瞥町準備委員会(中山事務局長)	北海道壮瞥町
	29	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】泉大津市設立準備委員会(藤原・滝田)	大阪府泉大津市
		【会議】名古屋市スポーツ戦略ビジョン有識者懇談会(原田会長)	オンライン
		【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】長和町観光協会打合せ(中山事務局長)	長野県長和町
10	3	銚子スポーツタウン「ちば銚子熱中小学校①」出席(中山事務局長)	千葉県銚子市
	5	第 41 回常任理事会	共同通信会館
	6	【会議】スポーツ庁「第 1 回地域スポーツ振興組織の在り方検討会」(藤原)	文部科学省会議室
	8	【講演】山口大学「SDGs による山口県内スポーツ観光資源の開発」(中山事務局長)	山口県山口市
	11-12	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】宇部市スポーツコミッション視察打合せ(藤原・井塚)	山口県宇部市
	12	【会議】スポーツ庁「第 1 回アーバンスポーツツーリズム研究会」(原田会長)	文部科学省会議室
	14	【講演】SPORTEC WEST(原田会長)	大阪府大阪市
	15	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】大館市設立検討委員会(中山事務局長)	秋田県大館市
	19	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間市設立準備委員会・視察(原田会長・中山事務局長)	茨城県笠間市
	20-21	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】長和町勉強会・視察(中山事務局長)	長野県長和町
	21	米子市 新体育館整備検討委員会(原田会長)	鳥取県米子市

10	23	第 8 回スポーツ振興賞選考委員会(原田会長)	弘済会館
	26	名古屋市スポーツ市民局スポーツ戦略室 訪問(中山事務局長)	共同通信会館
	30	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】泉大津市設立準備委員会(藤原・滝田)	大阪府泉大津市
	31-1	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】壮瞥町アウトドア体験会(中山事務局長)	北海道壮瞥町
11	6	2020 年度第 3 回 JSTA ウェビナー	オンライン
	7	銚子スポーツタウン「ちば銚子熱中小学校②」出席(中山事務局長)	オンライン
	10	【講演】熊谷スポーツコミッション KUMAGAYA スポーツ未来会議(原田会長)	埼玉県熊谷市
	9	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】八代市視察打合せ(藤原)	熊本県八代市
	10-11	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】松江市視察打合せ(藤原・滝田)	島根県松江市
	12-13	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間市設立準備委員会先進地視察(中山事務局長)	三重県松阪市・志摩市
	16	第 33 回理事会	共同通信会館・オンライン
	20-21	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】大館市設立検討委員会(中山事務局長)	秋田県大館市
	22	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】宇部市スポーツコミッション視察・打合せ(井塚)	山口県宇部市
12	24	アジア・アフリカ 20 特別総会(中山事務局長)	虎ノ門ヒルズ
	2	第 8 回スポーツ振興賞表彰式(原田会長)	東京ビッグサイト 青海展示場
	3	【講演】「SPORTEC 2020」(原田会長)	東京ビッグサイト 青海展示場
	4	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】泉大津市設立準備委員会先進地視察(滝田)	オンライン
	5	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】矢板スポーツコミッション アントラーズホームタウン DMO 視察(中山)	茨城県鹿嶋市
	6	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】矢板スポーツコミッション 銚子スポーツタウン視察(中山)	千葉県銚子市
	7	【会議】JSTA 武道ツーリズム推進部会	共同通信会館・オンライン

12	8	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】矢板市観光協会法人化準備委員会	栃木県矢板市
	14	JSTA セミナー委員会	共同通信会館・オンライン
	15	【会議】スポーツ庁「第 2 回アーバンスポーツツーリズム研究会」(原田会長)	文部科学省会議室
		【会議】スポーツ庁「第 2 回地域スポーツ振興組織の在り方検討会」(藤原)	オンライン
	17	熊本県観光企画課「熊本型スポーツツーリズム推進戦略」打合せ(中山事務局長・藤原・滝田)	熊本県熊本市・オンライン
	18	石川県かほく市打合せ(中山事務局長)	石川県かほく市
		【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】宝達志水町設立準備委員会(原田会長・中山事務局長)	石川県宝達志水町
	19	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】松江市設立準備委員会(藤原・滝田)	オンライン
	22	【講義】中村学園大学流通科学部ビジネスホスピタリティ講座(中山事務局長)	オンライン
	23	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】守谷市打合せ(中山事務局長・滝田)	栃木県守谷市
		【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間市設立準備委員会(中山事務局長・滝田)	茨城県笠間市
	24	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】長和町設立準備委員会(中山事務局長)	長野県長和町
		第 42 回常任理事会	共同通信会館
	25	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】泉大津市設立準備委員会(藤原・滝田)	オンライン
1	8	【講演】山口大学「SDGs による山口県内スポーツ観光資源の開発」(原田会長)	山口県山口市
	9	銚子スポーツタウン「ちば銚子熱中小学校④」出席(中山事務局長)	オンライン
	12	【調査】JSTA 自主調査「スポーツコミッションに関する調査 2021」実施	郵送及び WEB
	13	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間市設立準備委員会(中山事務局長)	茨城県笠間市
	14	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】大館市設立検討委員会(中山事務局長)	オンライン

1	14	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】八代市勉強会(藤原)	熊本県八代市
	15	【講演】茂原市議会(原田会長)	千葉県茂原市
	21	【調査】JSTA・月刊秘伝編集部共同調査「武道ツーリズム事業者に関するアンケート調査 2020」実施	郵送及び WEB
	26	【講演】茨城県まちづくりシンポジウム 2020「スポーツを活かしたまちづくり」(原田会長・中山事務局長)	オンライン
	28	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】長和町設立準備委員会(中山事務局長)	長野県長和町
	29	千代田区観光協会公募事業プレゼンテーション	千代田区かがやきプラザ
2	3	【会議】スポーツ庁「第 3 回アーバンスポーツツーリズム研究会」(原田会長)	オンライン
		【会議】スポーツ庁「第 3 回地域スポーツ振興組織の在り方検討会」(藤原)	オンライン
	6	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】泉大津市地域スポーツコミッション設立検討シンポジウム～スポーツで市民が幸せになるまちづくりを考える～(原田会長・藤原・滝田)	大阪府泉大津市
	6	銚子スポーツタウン「ちば銚子熱中小学校⑤」出席(中山事務局長)	千葉県銚子市
	9	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】松江市設立準備委員会(藤原・滝田)	オンライン
	10	第 9 回スポーツツーリズム・コンベンション	オンライン
	12	名古屋市スポーツ市民局スポーツ戦略室訪問(原田会長)	共同通信会館
	18	【会議】名古屋市「スポーツ戦略有識者懇談会」、瑞穂陸上競技場視察(原田会長)	愛知県名古屋市
	22	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】長和町設立準備委員会(中山事務局長)	長野県長和町
	24	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】壮瞥町設立総会&記念シンポジウム(中山事務局長)	北海道壮瞥町
3	26	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間市設立準備委員会(原田会長・中山事務局長)	茨城県笠間市
	3	第 43 回常任理事会	共同通信会館・オンライン
	4	台湾教育部体育署「Fun Sports in Taiwan」プロジェクトとの連携 MOU 調印式(原田会長)	オンライン

3	6	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】スポーツコミッション大館設立総会&キックオフイベント&シンポジウム(中山事務局長・滝田)	秋田県大館市
	8	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】泉大津市設立準備委員会(藤原・滝田)	オンライン
	9	【スポーツ庁地域 SC 自立支援事業】ウェルネススポーツ鴨川草刈りサミットオンライン(中山事務局長)	オンライン
	10	日本ゴルフツーリズム推進協会理事会(中山事務局長)	オンライン
	20	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】笠間芸術の森公園スケートパーク開園式典(中山事務局長)	茨城県笠間市
	21	銚子スポーツタウン 2020 年度事業報告まとめ・2021 年度事業計画打合せ(中山事務局長)	千葉県銚子市
	22	【スポーツ庁地域 SC 設立支援事業】松江市設立準備委員会(中山事務局長・滝田)	オンライン
		【講演】石巻市教育委員会体育振興課 スポーツコミッション勉強会(藤原・井塚)	宮城県石巻市
	24	熊本県観光企画課「熊本型スポーツツーリズム推進戦略」最終打合せ(中山事務局長・藤原・滝田)	熊本県熊本市

2 | SportAccord Convention2020



○日 時: 2020年4月19日～24日

○場 所: 北京(中国) ⇒ ローザンヌ(スイス) ⇒ エカテリンブルク(ロシア) ※2021 年

○経 緯:



2020 年 2 月 13 日

新型コロナウイルス感染症拡大により北京開催を断念



2 月 20 日

代替開催地としてローザンヌに決定し、
開催期間は 4/19～24(日時変更なし)

3 月 5 日

新型コロナウイルス感染症蔓延地域を考慮し、
下記 2 案 2 案が提示される

- ①SAC2020(ローザンヌ)での出展参加を継続
- ②SAC2021(エカテリンブルグ)での参加に移行
⇒ JSTA として②の 2021 年出展参加で申請

3 月 14 日

SAC2020 (ローザンヌ)開催中止決定

4 月 30 日

SAC2021 (エカテリンブルグ・5/23-28)
出展ブース配置決定



2021 年 4 月 7 日

SAC2021(エカテリンブルグ) 開催期間変更
⇒ 11/07-12

3 | 第8回スポーツ振興賞



JSTA

- 応募期間：2020年6月11日～8月20日（当日消印有効）
- 表彰式：12月2日「SPORTEC 2020」会場内において開催
- 応募件数：32件
- 受賞作品：

☆スポーツ振興大賞☆	
作品名 応募者	“三密を避けた”冒険レース ありのままの自然を活用した、アドベンチャーレースを全国で展開 有限会社エクストレモ（東京都墨田区）
作品の概要 アドベンチャーレースとは、3～4名が1チームとなり、様々なアウトドアアクティビティを駆使しながら、チームで協力してゴールを目指していくレースです。有限会社エクストレモは、アドベンチャーレースを中心とした様々な、アウトドアスポーツイベントを企画運営している会社で2005年に設立。これまで15年間で108回開催。現在は全国7か所で開催、16年目を迎える大会もあります。 地域交流や地域活性に貢献しつつ、4つの目標（①環境保護・自然保護 ②地域の宣伝 ③地域経済の発展 ④地域住民の協力）を持って、開催しております。里山や林道、川や海など地域特有のコースがレースの舞台となります。参加者だけでなく地元の人も地域の再発見ができるよう心掛けております。また、レース中にその地域ならではの、チームで取り組む課題を行っております。クイズや伊勢海老のつかみ取り、地元の人の似顔絵を描くなど、自然を体感するだけでなく、参加者と地元の人と交流できる工夫をしております。ありのままの自然を楽しみに来る人がいることで、地元の人にも地域の再発見や自分の地域を知ることができ、アドベンチャーレースを通して、人と人がつながり、地域のことを自ら発信し浸透していくことが、次世代につながればと思います。	



【スポーツ振興大賞】
有限会社エクストレモ



【スポーツツーリズム推進機構会長賞】
一般社団法人ウェルネススポーツ 鴨川

☆スポーツ振興賞（6 作品）		
スポーツ庁 長官賞	作品名 応募者	防災スポーツ ～スポーツを通じて楽しく学ぶ防災学習プログラム～ 株式会社シンク（東京都千代田区）
	作品の概要 防災スポーツは、「楽しんで、競い合って、身体で覚える」ことをテーマに、スポーツの持つ特性（遊戯性、運動、競争性）を活用し、災害時の自助・共助、災害後の復旧・復興（ボランティア）の際に想定されるシーンをスポーツ競技として体験し、日頃からスポーツを通じてもしもの時に生き抜く力を育みます。 2018 年から約 2 年の活動で延べ約 2500 名が参加しています。災害の多い日本で“スポーツ”として防災に取り組むことは、①子どもから大人まで幅広い世代に防災を身近に感じることができ、②災害に備える環境（社会）づくりを行うことにつながります。自分を守り、家族を守るために日常からスポーツを通して災害に備える。スポーツに親しみのない人の参加も期待でき、スポーツ実施率向上による健康増進寄与も目指しています。 商業施設、企業、自治体、学校での導入実績やアスリートとの共同開催もあり、この取組はグッドデザイン賞、キッズデザイン賞を受賞し評価を得ています。 今後はスポーツ庁「Sport in Life」プロジェクトの推進、スポーツ施設やスポーツ競技団体・クラブなどとの連携、海外展開も視野に活動を進めていきます。	
観光庁 長官賞	作品名 応募者	瀬戸内海に浮かぶ本州西端の宝島 「くだまつ笠戸島アイランドトレイル」 くだまつ笠戸島アイランドトレイル実行委員会（山口県下松市）
	作品の概要 当実行委員会は、風光明媚な瀬戸内海国立公園・笠戸島を舞台としたトレイルランレース「くだまつ笠戸島アイランドトレイル」を開催。下松の魅力を国内外に広く発信するとともに交流人口の拡大や地域振興を目的とし、人・自然・地域との共生を目指す。2016 年 2 月に第 1 回大会を開催。以降 5 年にわたり開催。県内外から来松されるランナー約 900 人に対し、総勢 400 人を超えるボランティアスタッフが関わり、地域一体となった下松ならではのおもてなしが人気。 これまでトレイルラン専門誌「RUN+TRAIL」をはじめ地元テレビ局・新聞社に取り上げられる。2018 年大会の様子は、韓国の旅行雑誌「Travie5 月号」に表紙と巻頭特集企画として掲載。翌 2019 年は、韓国でプロモーションを実施。韓国人ランナー 17 人がエントリーした。 2020 年大会では、国民宿舎 大城を大会前日から貸し切り、オフィシャルホテルに。宿泊者は、部屋から直接参加できるようになった。2020 大会は新型コロナウイルスの影響で直前に中止。 現在、大会当日だけでなく、年間通して笠戸島を訪れるランナーが増えており、住民とのコミュニケーションも積極的に行われている。今後も一過性の大会ではなく、アウトドアスポーツツーリズムとして着地型観光などの取り組みに力を入れていく。	

経済産業省 商務・サービス審議官賞	作品名 応募者	—With コロナ時代に適応したサイクルツーリズムの新しい形— 次世代観光サイクリング MAP アプリ「ツール・ド」 一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン（東京都新宿区）
	作品の概要 弊社团は全国の地方自治体と連携し「サイクルツーリズム」を活用した地方誘客事業を行っています。当初は主に「サイクリングイベント事業」を行っており、主催事業「ツール・ド・ニッポン」は「第5回スポーツ振興賞」も受賞しました。イベント事業での単日的誘客に成功した私達は、次の課題として、「イベントに依存しないサイクリストの通年的な誘客」に着手しました。その課題の解決施策が、今回の応募事業「次世代観光サイクリング MAP アプリ『ツール・ド』」です。 「ツール・ド」は、走行中のコースナビ機能、「ご当地スポット」へのチェックイン機能、オリジナルフォトフレームでの記念写真機能、ゴール後の完走証発行機能等があります、サイクリング観光に特化したスマホアプリです。2018年10月のローンチ以来多くのサイクリストに利用され、現在1.2万ダウンロード、1年間の走行回数11,872回（2019年4月～2020年3月）。 また多くの自治体で誘客施策として導入され、現在登録コース数は350。この夏には全国連携企画「サイクルボール-日本7大1周制覇の旅-」を立ち上げました。2020年「新型コロナ禍」を迎え、人が集まるイベントは開催しづらい状況が続く中、当アプリを活用した事業はウィズコロナ時代にも適した誘客施策としても注目を集めています。	
日本商工会議所 奨励賞	作品名 応募者	有馬-六甲 Virtual Ride Race 有馬-六甲 Virtual Ride Race 実行委員会（兵庫県神戸市）
	作品の概要 「有馬-六甲 Virtual Ride Race」は、インドアサイクリングアプリ「Rouvy（ルービー）」を利用し、有馬温泉～六甲山頂約15kmのサイクリングコースを日本初のARコースとして作成し、全世界から同時にオンラインを通じて参加可能となったアジア初のフィジカル e スポーツイベントです。 ①有馬～六甲山のサイクルツーリズムの促進、②フィジカル e スポーツの体験を通じたスポーツ実施率の向上、③イベント開催を通じた有馬温泉の賑わいを創出することを目的に企画を進め、地元企業の連携・協働によって実行委員会を立ち上げ、イベント開催に至りました。 当日は①エキシビジョンレースに4名、②ヴァーチャルヒルクライムレースに109名（うち海外参加者59名）が参加し、レースの様子はYouTubeを通じてリアルタイムで配信。ヴァーチャルヒルクライムレースでは、イベント会場となった「BARDE GOZAR」にて、実際にプロのサイクリストや競輪選手がレースに参加するなど、リアルとヴァーチャルを融合させた画期的なイベントとなりました。今後は継続的なイベント開催やヒルクライムツアーを実施するとともに、有馬温泉でのサイクリスト向けの拠点整備を進め、サイクルツーリズムの促進に取り組めます。	

スポーツツーリズム推進機構 会長賞	作品名 応募者	BOSO（房総 × 防草）草刈 サミット ～スポーツ×草刈 で地域課題解決プロジェクト～ 一般社団法人ウェルネススポーツ 鴨川（千葉県鴨川市）
	作品の概要 過疎化による後継者不足等で耕作放棄地が増加し、繁茂した草木が有害鳥獣の温床になり、深刻な農作物被害が発生しています。耕作放棄地の草刈作業にスポーツ要素をかけ合わせ、重労働を前向きにポジティブに取り組もうという逆発想です。ネガティブな印象の強い草刈をスポーツととらえ、スポーツのもつ「楽しみ」や「競技性」の要素を加えた、スポーツ×草刈を考案しました。2018年に発足。戦前には「大日本草刈選手権大会」が東京で開催されていました。 安全性を重視し、スピードではなく、仕上りの美しさを競うルールを設定。賞品を用意し、スポーツ大会の雰囲気醸すべく、実況や解説、BGMを投入しました。“選手”は日常の農作業には少ない、スポーツ独特の爽快感、充足感を味わいました。NHKの朝の情報番組でも取り上げられ、マスコミの注目も集めました。JTBのCSR事業「地球いきいきプロジェクト」にスポーツ×草刈が採用されました。草刈のスポーツ効果を検証すべく、地元大学研究チームの協力による草刈作業の筋活動などの計測、実証を行う予定です。今後、農業関係スポンサーを募り、常設型の「BOSO草刈リーグ」を創設し、全国大会・国際大会の開催も計画し、スポーツの力による地域課題解決の新たなモデルを創出したい。	
スポーツ健康産業団体連合会 会長賞	作品名 応募者	国際バスケットボール連盟 正式競技 3人制バスケットボール「3x3」 宇都宮市でクラブチーム世界一最終決定戦またオリンピック出場国発表記念イベントを同時開催 FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019 実行委員会（栃木県宇都宮市）
	作品の概要 クロススポーツマーケティング株式会社と宇都宮市は、2016年から国際バスケットボール連盟(FIBA)が主催する「3人制バスケットボール」のクラブチーム世界一決定戦「FIBA 3x3 World Tour」を、約1600年にわたって宇都宮の街を見守り、歴史・文化と近代的な街並みが融合したロケーションの「宇都宮二荒山神社」を舞台に誘致し、「3x3のまち、宇都宮」をスローガンに掲げ、多くの宇都宮市民及び県外・国外から集まった人々へ世界最高峰の戦いを体感できる機会の提供と、宇都宮市の食や文化、魅力を世界へ発信してきました。 2019年度は宇都宮市での初めての「3x3」クラブチーム世界一最終決定戦「FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019」に加えて「オリンピック出場国発表記念イベント」を開催。人々の注目が集まる中、2日間で延べ約7.8万人が観戦に訪れ、経済波及効果は約5.6億円を記録致しました。また、市内小中学校への3x3公式球の配布や屋外バスケットゴールの設置、「U12 3x3 宇都宮市長杯」の開催、更には大会出場選手が小学校を訪問し、子どもたちとの交流を行う学校訪問事業など、3人制バスケットボールを通して子どもたちがスポーツに親しみやすい環境づくりにも積極的に取り組んでおります。	

スポーツ振興賞 募集要項

第8回

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構では、「第8回スポーツ振興賞」の募集を行っています。スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に貢献されている団体、グループ、企業の方々の積極的なご応募をお待ちしています。表彰はスポーツ振興大賞 他6点です。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、過去の実績によるご応募でも差し支えありません。奮ってご応募ください。 応募締切／令和2年8月20日（木）（当日消印有効）

■応募方法

応募にあたっては、下記の選考基準を勘案して以下の書類を作成し、（公社）スポーツ健康産業団体連合会宛、お送り下さい。書類はプリントアウトしたものと電子データを併せてお送り下さい。

①エントリーシート

②本文（様式は特に定めませんが、下記内容を簡潔にお書き下さい。）

スポーツを通じた健康づくり及びスポーツを起爆剤としたツーリズムや産業振興・地域振興（まちづくり）の貢献、活動の経緯、活動組織の内容、特筆すべき点、今後の展開などの活動内容

③要約（②の本文を500字程度でまとめたもの）

④写真（写真は10枚程度以内、必ず説明文を書き添えてください。写真データがあればご送付ください。）

なお、動画素材の提出はご遠慮ください。ホームページをお持ちの場合、URLを載せていただいても結構です。）

※応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

■選考方法

応募のあったものの中から、（公社）スポーツ健康産業団体連合会と（一社）日本スポーツツーリズム推進機構が共同で設置するスポーツ振興賞選考委員会において選考の上、決定します。

■選考基準

【健康づくり・まちづくり】 スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをしているか。スポーツや障がい者スポーツを起爆剤としてツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に貢献しているか。

【市民参加】 市民が積極的に参加できる仕組みがつけられているか。

【事業の健全性】 事業の内容及び活動が健全であるか。

【交流・連携】 国内外を問わず交流や連携が行われているか。

【継続・発展】 活動が継続的に進められ、将来の発展性が見られるか。

【評価】 参加者、市民、自治体に評価されているか。

【望ましい事項】 独創性に富んでいる。イメージ向上に貢献している。新聞、テレビ、ラジオ等で取り扱われている等。

■表彰内容

★スポーツ振興大賞1点 …… 賞状、トロフィー、副賞20万円

★スポーツ振興賞 各1点 …… 賞状、トロフィー

・スポーツ庁長官賞（予定）	・観光庁長官賞（予定）
・経済産業省商務・サービス審議官賞（予定）	・日本商工会議所 奨励賞（予定）
・日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞	・スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

■審査結果発表、表彰式、受賞者による事業発表

・審査結果の発表は令和2年10月下旬を予定。スポーツ健康産業団体連合会、日本スポーツツーリズム推進機構のホームページにおいて受賞者の活動内容を広く周知するとともに、報道機関にもプレスリリースすることにしてあります。

・表彰式は、令和2年11月24日（火）開催の「SPORTEC2020展示会（東京ビッグサイト／スポーツ健康産業団体連合会特別協力）」の席上を予定しています。

・表彰式後、受賞者による受賞事業の活動発表を予定しています。

【書類送付先・お問合せ】

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 事務局（担当：板垣）

住 所：〒106-0032 東京都港区六本木6-2-33 六本木ヒルズノースタワーアネックス3F

TEL：03-6434-9510 FAX：03-6434-9511

E-mail：jshif@spo-danren.jp

URL：<https://www.jsif.or.jp/>

令和2年11月4日

第8回スポーツ振興賞の発表(案)
～東京ビッグサイト青海展示棟で授賞式を開催～

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会(東京都港区)と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構[JSTA](東京都港区)は、スポーツ振興賞選考委員会の審査を踏まえ、スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興(まちづくり)に大きく貢献した団体、企業等を顕彰するとして第8回スポーツ振興賞の各賞の授賞作品を発表します。

応募総数32件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」を、優れた作品に「スポーツ振興賞」として、スポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務・サービス審議官賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、スポーツ健康産業団体連合会会長賞の6点を選定しました。授賞式は、来る12月2日(水)に東京ビッグサイト青海展示棟(東京都江東区)の会場でを行います。

1. 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構は、スポーツ振興賞選考委員会で慎重、厳正に審査された結果を踏まえ、以下の作品を授賞作品として決定した。

★スポーツ振興大賞

作品名: “三密を避けた”冒険レース

ありのままの自然を活用した、アドベンチャーレースを全国で展開

応募者: 有限会社エクストレモ(東京都墨田区)

★スポーツ振興賞

○スポーツ庁 長官賞

作品名: 防災スポーツ

～スポーツを通じて楽しく学ぶ防災学習プログラム

応募者: 株式会社シンク(東京都千代田区)

○観光庁 長官賞

作品名: 瀬戸内海に浮かぶ本州西端の宝島

「くだまつ笠戸島アイランドトレイル」

応募者: くだまつ笠戸島アイランドトレイル実行委員会(山口県下松市)

○経済産業省 商務・サービス審議官賞

作品名: ーWith コロナ時代に適応したサイクルツーリズムの新しい形ー

次世代観光サイクリングMAPアプリ「ツールド」

応募者: 一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン(東京都新宿区)

○日本商工会議所 奨励賞

作品名：有馬-六甲 Virtual Ride Race

応募者：有馬-六甲 Virtual Ride Race 実行委員会（兵庫県神戸市）

○一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

作品名：BOSO（房総 × 防草） 草刈りサミット

～スポーツ × 草刈 で 地域 課題 解決 プロジェクト～

応募者：一般社団法人ウェルネススポーツ 鴨川（千葉県鴨川市）

○公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

作品名：国際バスケットボール連盟 正式競技 3 人制バスケットボール「3x3」

宇都宮市でクラブチーム世界一最終決定戦またオリンピック出場国発表記念イベントを同時開催

応募者：FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019 実行委員会（栃木県宇都宮市）

2. 選考委員の受賞作品に対する意見は次のとおり。

○作品名：“三密を避けた”冒険レース

ありのままの自然を活用した、アドベンチャーレースを全国で展開

応募者：有限会社エクストレモ（東京都墨田区）

・大自然のアドベンチャーレースとして、初心者用から上級者用まで幅広く地域の自然を活用したコースを用意し、地域の里山や林道、川や海など地域特有の生態系について参加者や地元の人々が再発見するきっかけを意識しております。自然との共存、環境保護の視点を持ちつつ、エンターテインメント性も十分にあり、with コロナ、アフターコロナの流れの中で注目されます。楽しみながらスポーツを実施でき、レース中に地域住民と交流しながらの様々な地域の魅力体験や、古民家を活用した宿泊を推進し、地元行政、観光協会、商工会、農協、漁協、キャンプ場などが連携し、観光振興に繋がるスポーツイベント。独創性があり、優秀なイベントです。

○作品名：防災スポーツ

～スポーツを通じて楽しく学ぶ防災学習プログラム

応募者：株式会社シンク（東京都千代田区）

・災害の多い日本で、スポーツとして防災に取り組み、スポーツによって学ぶことが特徴的で、老若男女が気軽に楽しく参加できる環境作りと健康意識の向上は将来性があり評価できます。「防リーグ（体験）」「防トレ（対策）」の2つの観点からの種目化がユニークで、種目のピクトグラム化も優れています。災害時に役立つさまざまな防災の知恵と技を、体を動かし楽しく学ぶことができます。子供から大人まで、スポーツを通じて防災を身近に感じ、災害に備える環境づくりを促進しています。非常に特殊なイベントですが、重要性が高い。

○作品名：瀬戸内海に浮かぶ本州西端の宝島

「くだまつ笠戸島アイランドトレイル」

応募者：くだまつ笠戸島アイランドトレイル実行委員会（山口県下松市）

・国立公園を舞台としたトレイルランの設定が魅力的で、地域に価値を生む優良スポーツツーリズムイベントです。観光資源に恵まれてないという課題に対し、自分たちが持っている自然資源（国立公園）に目を向けて活用しています。実施後に開催結果の分析を実施し、課題改善意識が高く、改善につなげています。韓国旅行誌への記事掲載、韓国の出版社やギアメーカーをまわりプロモーションを実施するなど、持続可能なコンテンツの造成に努め、国内外へ発信して地域一体となったアウトドアスポーツツーリズムを推進していることが評価できます。

○作品名：— With コロナ時代に適応したサイクルツーリズムの新しい形—

次世代観光サイクリング MAP アプリ「ツールド」

応募者：一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン（東京都新宿区）

・サイクリング MAP アプリ「ツールド」を通じて、品質の担保されたサイクリングコースを一般参加者へ届けるサービスの仲介者としての活動に特色があります。立ち寄りスポットへのチェックインにインセンティブをつけることでサイクリストが特定の施設に必ず立ち寄り、地域資源を活用する設計で地域振興にも期待できます。WITH コロナ時代のニーズに対応した先進的な取組で発展性が感じられます。イベントに依存しない通年誘客を目的とするとともに、スマホアプリ上にリアルなサイクリングコースを展開することで地域振興に貢献できています。参加型スポーツアプリでは、完成度が高く、マラソンなどのアプリ開発のモデルとなります。

○作品名：有馬-六甲 Virtual Ride Race

応募者：有馬-六甲 Virtual Ride Race 実行委員会（兵庫県神戸市）

・eスポーツとフィジカルスポーツを融合したユニークな取り組みが秀でています。サイクリング器具の準備やサイクリングができる環境への移動を伴わずとも、サイクリングをリアルに近い状態で体験できることが特徴です。世界中のコースを体感し、かつ競い合える素晴らしい試みで、リアルなイベントへの参加促進や提携している施設の利用にも繋がるのが期待できます。ARを活用したサイクリングコースが今後増えることで観光産業を含めたビジネス創出の可能性を感じます。雨天でも問題なく開催できるという利点もあります。

○作品名：BOSO（房総 × 防草） 草刈 サミット

～スポーツ × 草刈で地域課題解決 プロジェクト～

応募者：一般社団法人ウェルネススポーツ 鴨川（千葉県鴨川市）

・社会課題の解決とスポーツイベントを結びつけたユニークなコンテンツで、独創性の優れたイベントです。草刈りをスポーツとして楽しむ発想が面白く、スピードは絶対に競わない、草刈後の仕上がりの美しさを競うというルールも良く、発想と着眼点が評価できます。ローカルスポーツとしても面白く、地方では過疎化が進み、高齢化により、荒地が広がっており、社会課題の解決という点において、意義がある活動です。全国で同じ悩みを抱えている地域に対しても良いモデルとなります。

○作品名：国際バスケットボール連盟 正式競技 3 人制バスケットボール「3x3」

宇都宮市でクラブチーム世界一最終決定戦またオリンピック出場国発表記念イベントを同時開催

応募者：FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019 実行委員会（栃木県宇都宮市）

・市民参加には格好の3人制バスケットボールで、国際大会を誘致して街おこしにつなげ、スポーツとまちづくりを図っています。二荒山神社で開催し、お神輿が出るなど文化的融合を図り、2019年度延べ約7.8万人が観戦に訪れ、経済波及効果約5.6億円を記録し、事業として成功し、全国にチームをつくった点が評価できます。世界戦の開催など「3X3のまち宇都宮」をスローガンにした取り組みは、他地域での地域活性化のモデルとなります。最近、人気が急速に高まってきているバスケットボール「3X3」だけに、将来性は十分。



4

SPORTEC 2020 SPORTEC WEST 2020



■SPORTEC 2020

- 日 時:2020年12月2日(水)～4日(金)
- 場 所:東京ビッグサイト 青海展示場 A・B ホール
- 主 催:SPORTEC実行委員会
- 共 催:一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 ほか
- 来場者:25,634 名(3 日間)

【12月2日(水)】

＜第8回スポーツ振興賞 授賞式＞

スポーツ振興賞受賞者による発表とディスカッション(会場内ブースにてパネル展示)

【12月3日(木)】

＜原田会長 セミナー登壇＞

「舞洲プロジェクト・未来社会 の実現に向けた大阪ベイエリアでの協創実証事業」

【12月2日(水)～4日(金)】

＜JSTA パビリオン＞

JSTA 会員希望者によるポスター掲示・カタログ展示ブース展開



■SPORTEC WEST 2020

○日 時:2020年10月14日(水)～16日(金)

○場 所:インテックス大阪

○主 催:SPORTEC実行委員会

○後 援:一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 ほか

【10月14日(水)】

＜原田会長 基調講演登壇＞

「ポストコロナを抜けて、2021年のスポーツビジネス・スポーツツーリズムの未来を予測する」

【10月14日(水)～16日(金)】

＜JSTA パビリオン＞

JSTA 会員希望者並びにスポーツ庁によるポスター掲示・カタログ展示ブース展開



5 | 第9回スポーツツーリズム・コンベンション



- 日 時:2021年2月10日(水)13時00分～16時45分
- 場 所:オンライン開催(Zoom ウェビナー)
- 主 催:一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構
- 申込人数:178名(会員、一般すべて含む)

第9回 スポーツツーリズム・コンベンション

交流ネットワークの再構築をめざして～ニューノーマル時代のスポーツ・文化ツーリズム～

2021.2.10 wed 13:00-16:45 オンライン開催

| 参加申込 | <https://jsta-sporttourism-convention09.peatix.com>

- 1 13:00- 基調講演
- 2 13:45- 先行事例から見出す武道 (BUDO) ツーリズムの展望
- 3 14:20- スポーツアクティビティとワーケーションの可能性
- 4 15:15- シンポジウム「スポーツコミッションの設立に向けて～その時自治体担当者は～」

基調講演

【ビデオメッセージ】 スポーツ庁長官 室伏 広治氏



一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事
原田 宗彦

ペンシルバニア州立大学で博士号 (Ph.D.) を取得し、フルブライトのシニアリサーチとしてテキサス A&M 大学で研究を行う。国立体育大学、大阪体育大学を経て、現在は早稲田大学スポーツ科学部教授。学外では、アジア・スポーツマネジメント学会の会長等を務めた後、現在は、JSTA 代表理事、日本スポーツマネジメント学会会長、公益財団法人バレーボール協会理事などを務める。スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツツーリズム、レジャー研究の分野での著書が多数ある。



公益社団法人日本トリアスロン連合 (JTU) 専任理事
ワールドトリアスロン 副会長
公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC) 理事

大塚 真一郎 (JSTA 理事)

1984 年から国内外においてトリアスロン競技の普及に努め、トリアスロンオリンピック正式競技入りのロビイング活動に尽力。2013 年 IOC 総会での 2020 東京オリンピック・パラリンピック東京大会開催の招致活動をサポート。アジアトリアスロン同盟 (ASTC) では 2019 年 6 月に事務総長に。国際トリアスロン連合 (ITU) では 2004 年から理事、2016 年には副会長に当選。また、2019 年 2 月から 2020 年 9 月までスポーツ庁参与を務めた他、JOC 総務本部副部長、マーケティング委員会副委員長・JOC オリンピックムーブメント部長等を兼任。

先行事例から見出す武道 (BUDO) ツーリズムの展望



一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー
企画・施設事業部企画課 主査
酒井 達也氏

大学で取得した社会調査士の資格を活かし、外国人観光客満足度調査、外国人観光客受入に関する実証調査、観光産業実態調査等様々な調査分析業務を行う。また、ツーリズム EXPO ジャパン 2020 沖縄開催協賛、広域連携 DMO 登録、訪日 GC 事業など新規案件の企画提案にも数多く携わり、沖縄観光の新たな魅力創造に取り組んでいる。2003 年に沖縄に移住し現在ではウチナンチュとして沖縄生活を満喫している。



日本航空株式会社 地域事業本部
大槻 政直氏

平成元年入社後、国内国際線販売部を中心に支店勤務を行い、平成 30 年に地域事業本部、九州山口地区代表を拝命。“人・物・情報の交流”をコンセプトとした地域活性化事業に取り組む。主な取り組みに、海外物流の構築 (生鮮野菜の輸出)、城・古民家再生による地域プロデュースを手掛けている。

スポーツアクティビティとワーケーションの可能性



株式会社日本総合研究所 地域・共創デザイングループ
Sports Innovation Team. コンサルタント
佐藤 俊介氏

2008 年東北大学大学院修了。建設コンサルタント会社に社会インフラ整備事業に従事。2014 年株式会社日本総合研究所に入社。官民連携による公共事業コンサルティング業務に従事。2017 年官民人事交流制度によりスポーツ庁へ入庁。地域のスポーツ環境整備による地域振興に関する政策推進に従事。2019 年より退職に復帰。Sports Innovation Team. を立ち上げ、スポーツにより社会課題解決を目指す事業に従事。

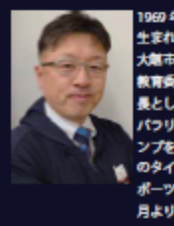


株式会社矢野経済研究所
コンシューマー・マーケティングユニット スポーツグループ部長
三石 茂樹氏

1968 年東京都生まれ。株式会社矢野経済研究所 コンシューマーマーケティングユニット スポーツグループ部長。スポーツ用品メーカー勤務を経て矢野経済研究所に入社。以降一貫してスポーツバイク、ゴルフ、釣りを中心としたスポーツ産業開発に従事。近年は「スポーツを介した地方創生」の実現に向けた戦略提案をチャレンジテーマとして活動している。

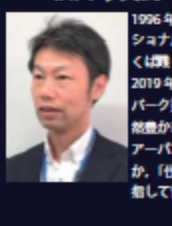
シンポジウム「スポーツコミッションの設立に向けて～その時自治体担当者は～」

秋田県大館市 観光交流スポーツ部 スポーツ振興課
スポーツ交流推進係 係長 **工藤 史尚氏**



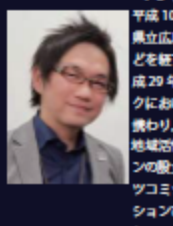
1969 年「中央八幡公のふるさと」秋田県大館市生まれ。秋田大学経済学部を卒業し、1993 年に大館市役所に採用。2016 年 4 月に創設となった教育委員会スポーツ振興課スポーツ交流推進係長としてホストタウン事業に携わり、タイ王国 パタリンピック競技 (ボッチャ・陸上) の事前キャンプを誘致。併せてスポーツコミッション設立のタイミングを図る。庁内の組織改革によりスポーツ振興課が市長部局となった 2020 年 4 月より現職。

茨城県笠間市 都市建設部 都市計画課
課長 **横山 孝夫氏**



1996 年茨城県入庁。土木分野を専門とし、ナショナルサイクリングルートに選定された「つくば環ヶ谷りんりんロード」等の担当を経て、2019 年 4 月から現職。国内最大級のスケートパーク施設に携わる。歴史と文化に彩られた自然豊かな笠間市において、一見ミスマッチなアーティスツスポーツをどのように生かしていくか、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」を目指して街中で、スケートボードは下着人。

広島県 地域政策局 スポーツ推進課
グループリーダー **河本 卓也氏**



平成 10 年、広島県庁入庁。以降、土木建設局、県立広島大学、教育委員会、経営戦略チームなどを経て、現在はスポーツ関係業務に従事。平成 29 年、東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおけるメキシコ選手団の事前合宿の誘致に携わり、令和元年からは「スポーツを活用した地域活性化」に向け、広島県スポーツコミッションの設立を担当。令和 2 年 4 月、広島県スポーツコミッションである「スポーツアクティベーションひろしま」の設立とともに、その一員として取り組んでいる。

コーディネーター：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 地域スポーツ戦略ディレクター 藤原 直幸

6 | スポーツコミッションに関する調査 2021



全国の地域スポーツコミッションの現状を明らかにするため、「スポーツコミッションに関する調査 2021」を実施した。調査結果は、調査報告書として JSTA ウェブサイトに掲載する他、JSTA セミナーでの発表、スポーツ庁「地域スポーツコミッションの設立促進及び自立経営に向けた総合コンサルティング事業」への掲載などで活用する。

1. 調査概要

調査名	スポーツコミッションに関する調査 2021
調査目的	全国のスポーツコミッションの現状を明らかにすること
調査対象	159 団体（2020 年 10 月時点でスポーツ庁が把握する団体）
調査期間	2021 年 1 月 13 日（水）～2 月 12 日（金）
調査方法	郵送による質問紙調査
調査主体	（一社）日本スポーツツーリズム推進機構
調査項目	団体名、組織形態、事業開始年月、自治体所管部署、予算、担当職員数 独立意向、独立時期、独立後に必要な活動 設立前の会議体メンバー、設立に影響のあった人物 設立時に目的としていた活動、現在の主な活動、国に期待することなど

調査は全国の地域スポーツコミッション（2020 年 10 月時点のスポーツ庁が把握する団体）159 団体を対象に、2021 年 1 月 13 日（水）から 2 月 12 日（金）までの期間で実施した。郵送によって質問紙を配布し、郵送での返信、FAX、メールのいずれかで回答を求めた。調査項目は、団体名、組織形態、事業開始年月、自治体所管部署、予算、担当職員数、独立意向、独立時期、独立後に必要な活動、設立前の会議体メンバー、設立に影響のあった人物、設立時に目的としていた活動、現在の主な活動、国に期待することなどである。

回収状況を表 1 に示した。調査票を配布した 159 団体に対して、回収数は 111 団体で回収率は 69.8% であった。次ページ以降、地域スポーツコミッションの現状について、調査結果から体系化を行った結果を示した。

2. 回収状況

配布数	159 団体
回収数	111 団体
回収率	69.8%

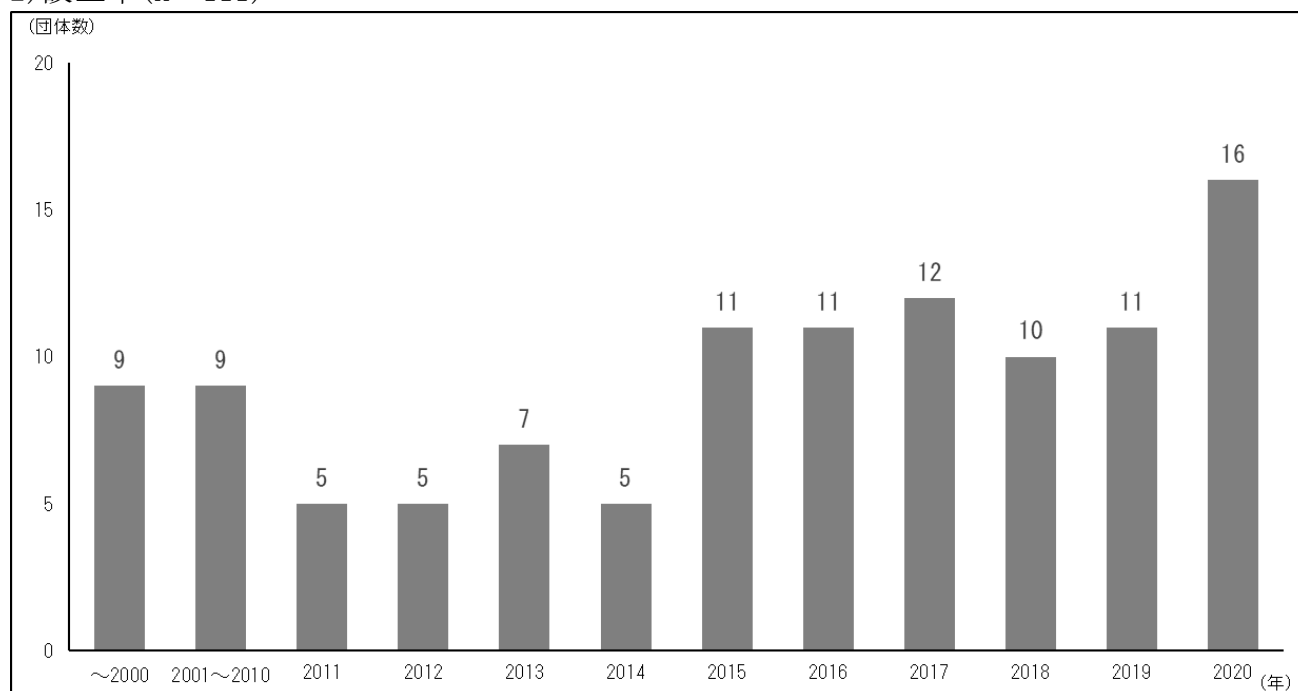
表 1

3. 調査結果(速報版)

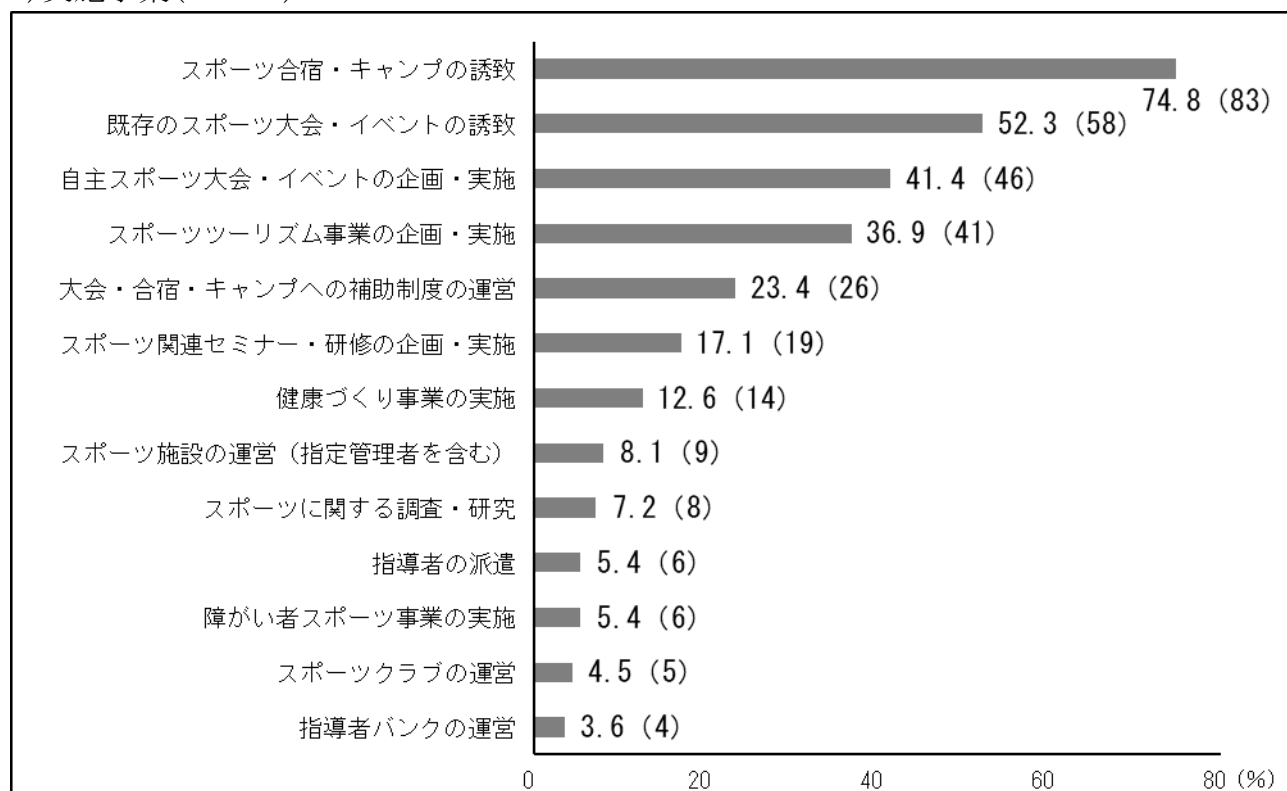
1) 組織形態(n=111)

組織形態	団体数	割合 (%)
自治体の事業として実施 (自治体内に事務局機能)	51	45.9
自治体の事業として実施 (外郭団体に事務局機能)	4	3.6
一般社団法人	19	17.1
一般財団法人	0	0.0
公益財団法人	1	0.9
公益社団法人	2	1.8
特定非営利活動法人 (NPO法人)	6	5.4
任意団体 (実行委員会・協議会など)	27	24.3
その他	1	0.9
合計	111	100

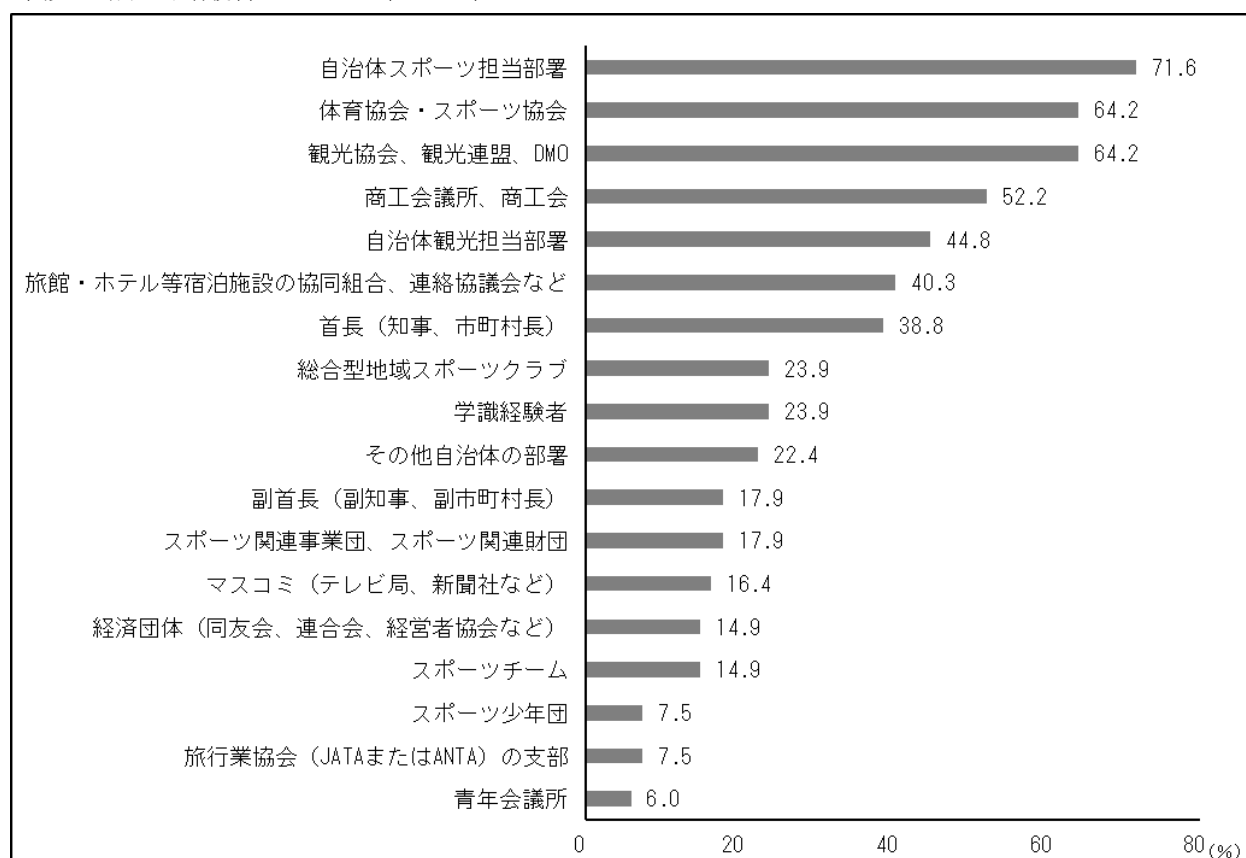
2) 設立年(n=111)



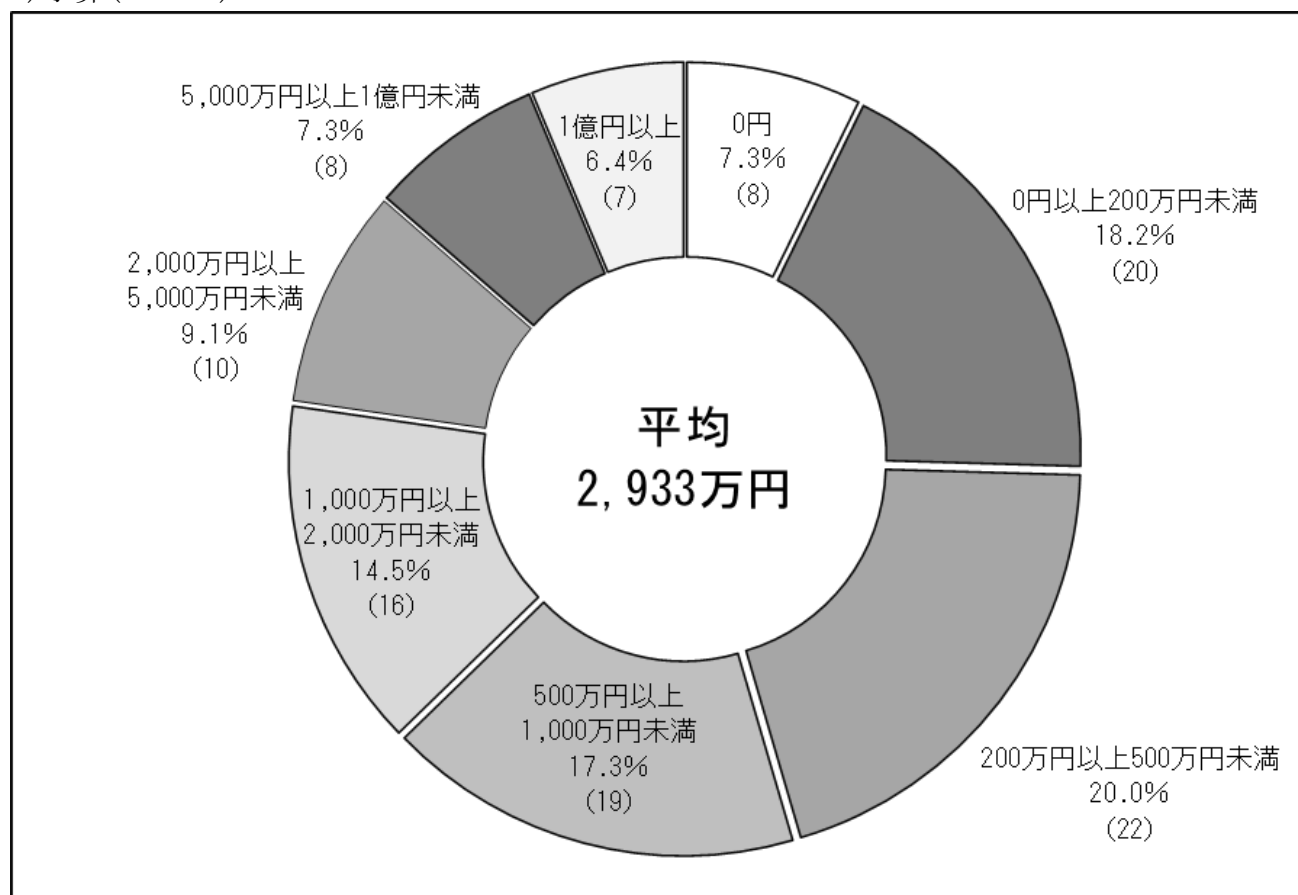
3) 実施事業(n=111)



4) 設立前の会議体メンバー(n=67)



4) 予算 (n=110)



5) 担当部署 (n=107)

組織形態	団体数	割合 (%)
教育委員会	31	29.0
首長部局のスポーツ部署	46	43.0
観光部署	21	19.6
スポーツ・観光以外の部署	9	8.4
合計	107	100

本調査資料は、全文、一部に関わらず、無断転載及び複製禁止です。ご利用にあたっては、当機構までご連絡を頂くか、出所として一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構と必ずご明記ください。

7 | JSTA 武道ツーリズム推進部会



スポーツ庁主催の会議体であった「武道ツーリズム研究会」(座長:原田宗彦)は、2019年度末に「武道ツーリズム推進方針」を策定し、研究会は2019年度末をもって発展的に解消された。

新たな武道ツーリズム推進組織の立ち上げが望まれるなか、これまでの経緯を踏まえ、スポーツ庁はじめ関係団体と連携し、本年度より「JSTA 武道ツーリズム推進部会」を実施した。

○日 時:2020年12月17日(月)13時30分～15時30分

○場 所:虎ノ門・共同通信会館 5階会議室／オンライン(Zoom)

※ご所属・お役職名は開催当時 ◎委員長

	所 属	役 職	名 前	出欠
委 員	早稲田大学	スポーツ科学学術院 教授	原田 宗彦 ◎	○
	公益財団法人日本武道館	理事・事務局長	吉川 英夫様	○
	内閣府	クールジャパン 地域プロデューサー	陳内 裕樹様	○
	日本航空株式会社	地域事業本部 支援推進部 部長	高橋 秀次様	○
	楽天株式会社	トラベルエクスペリエンス事 業 副事業長	宮崎 有生様	○
	株式会社やまところ	代表取締役	村山 慶輔様	○
	株式会社近畿日本ツーリスト コーポレートビジネス	スポーツ事業推進部	斉藤 健様	○
	株式会社 JTB	法人事業本部事業推進部 地域交流事業チーム 開発推進担当部長	市原 秀彦様	○
	金沢文化スポーツコミッション	代表	平 八郎様	○
	株式会社アイサイト	代表取締役	馬場 誠様	○
賛 助 委 員	山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 教授	William Reed 様	○
	スポーツ庁	地域振興担当 参事官	原口 大志様	○
	スポーツ庁	係 長	横田 宜憲様	○
	スポーツ庁	専門職	片岡 章様	○
	スポーツ庁	研修生	多々良 祐明様	○
アドバ イザー	株式会社小西美術工藝社	代表取締役社長	David Atkinson 様	欠席

○次 第:

1. 委員紹介
2. 委員長の選出
3. 本部会の趣旨について
4. 委員挨拶
5. 「武道ツーリズム推進方針」おさらい
6. 令和 2 年度 の事業について
7. 令和 3 年度 以降の武道ツーリズムの在り方について
8. 意見交換

8

武道ツーリズム事業者に関するアンケート調査 2020



1. 調査目的

日本固有の文化である「武道」を活かしたツーリズム事業の発展のための基礎データの収集

2. 調査主体

調査主体: 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)/月刊秘伝編集部

調査協力者: 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 原田宗彦

分析・報告書作成者: 早稲田大学スポーツ科学学術院 助教 山下 玲

早稲田大学スポーツ科学研究科博士後期課程 楊 雅琪

3. 調査手法

質問紙とWEB の併用

3. 調査対象

月刊秘伝道場ガイド登録道場

4. 調査期間

郵 送: 2021 年 1 月 22 日～2 月 15 日

ウェブ: 2021 年 1 月 20 日～2 月 15 日

5. 調査票回収数

315 部(郵 送: 148 部、ウェブ: 167 部)

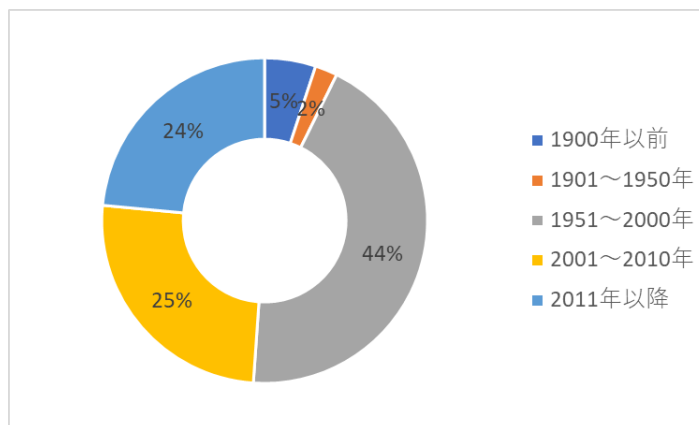
本調査資料は、全文、一部に関わらず、無断転載及び複製禁止です。ご利用にあたっては、当機構までご連絡を頂くか、出所として一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構と必ずご明記ください。

問 1. 回答者属性

※組織名、組織所在地などのため省略

問 2. 道場の設立年

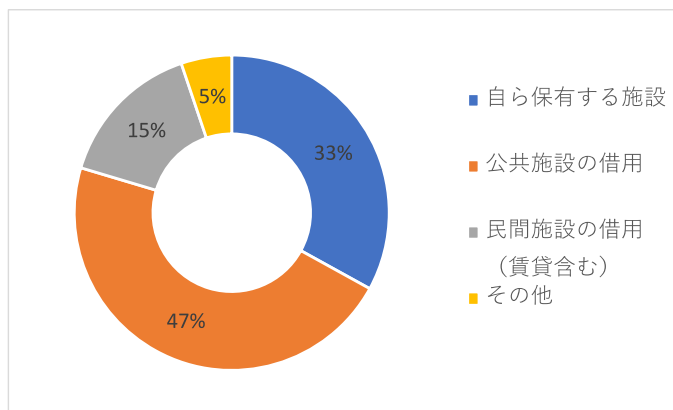
	n	%
1900 年以前	16	5.1
1901～1950 年	7	2.2
1951～2000 年	138	43.8
2001～2010 年	80	25.4
2011 年以降	74	23.5
合計	315	100.0



半数近くの道場が 1951 年～2000 年の間に設立していることが明らかとなった(43.8%)。また、2001 年以降に設立された道場も 48.9%と多く存在することが明らかとなった一方、1900 年以前から存在する道場も 5%あることが示された。

問 3. 道場が使用している施設の種類の

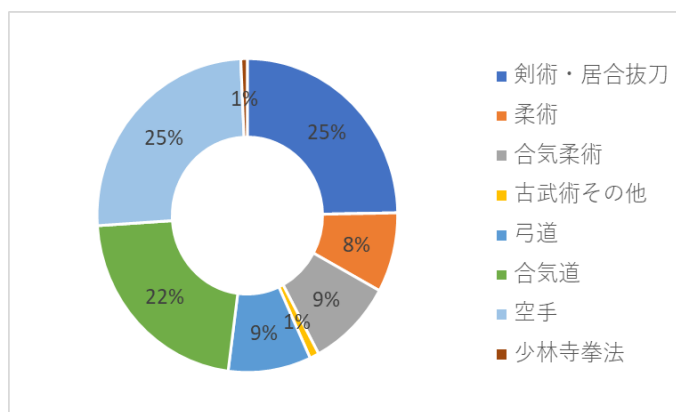
	n	%
公共施設の借用	144	46.6
自ら保有する施設	102	33.0
民間施設の借用（賃貸含む）	47	15.2
その他	16	5.2
合計	309	100.0



半数近くの道場が公共施設を借用していることが明らかとなった。また、自ら施設を保有している道場も一定数存在することが明らかとなった。

問 4. 主に提供している武道

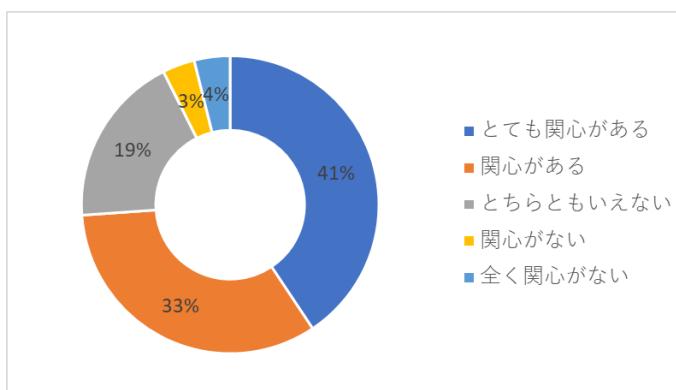
	n	%
空手	74	25.3
剣術・居合抜刀	72	24.7
合気道	64	21.9
合気柔術	27	9.2
弓道	26	8.9
柔術	24	8.2
古武術その他	3	1
少林寺拳法	2	0.7
合計	292	100.0



主に提供している武道は多岐に渡るが、現代武道に含まれる空手が最も多く、古武術に含まれる剣術・居合抜刀が次いだ一方、少林寺拳法を提供している道場は少ないことが明らかとなった。

問 5. 武道ツーリズムへの関心

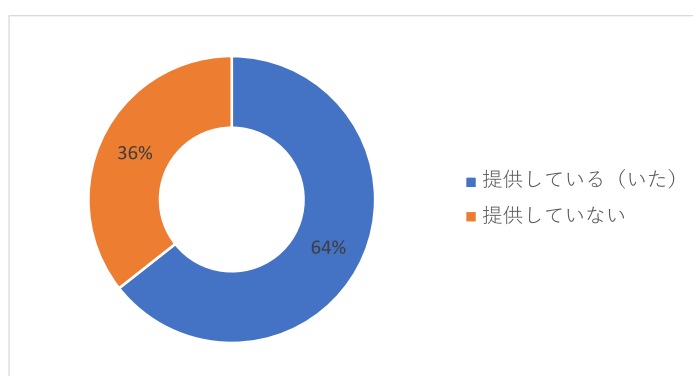
	n	%
とても関心がある	126	40.6
関心がある	103	33.2
どちらともいえない	58	18.7
関心がない	11	3.5
全く関心がない	12	3.9
合計	310	100.0



武道ツーリズムへの関心を尋ねたところ、「とても関心がある」と「関心がある」が7割を超えていることが明らかとなった。

問 6. 一般市民及び海外の方を対象とした武道の体験プログラム提供の有無

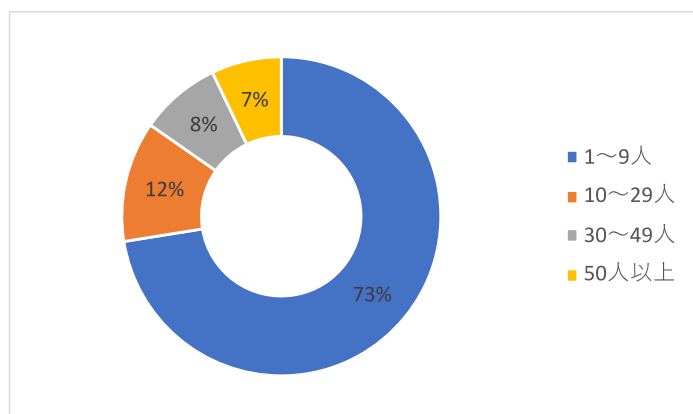
	n	%
提供している（いた）	201	64.4
提供していない	111	35.6
合計	312	100.0



一般市民や海外からの観光客を対象とした体験プログラムを提供しているかを尋ねたところ、提供している、あるいは過去にしていた道場が半数以上を超えていた。

問 7. 提供しているプログラムの 1 ヶ月あたりの参加者（新型コロナウイルスの影響を受ける前）

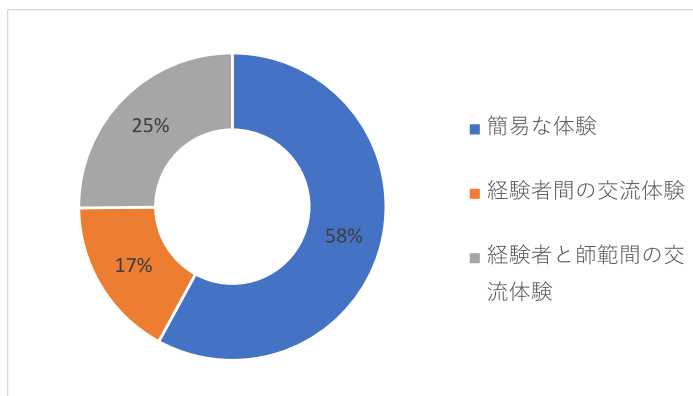
	n	%
1～9 人	142	72.4
10～29 人	24	12.2
30～49 人	16	8.2
50 人以上	14	7.1
合計	196	100.0



問 6 で「提供している（いた）」と回答した道場が提供しているプログラムの 1 ヶ月あたりの参加者は「1～9 人」が最も多く（72.4%）、「50 人以上」と回答した道場も 7.1% 存在した。

問 8. 提供しているプログラムの種類

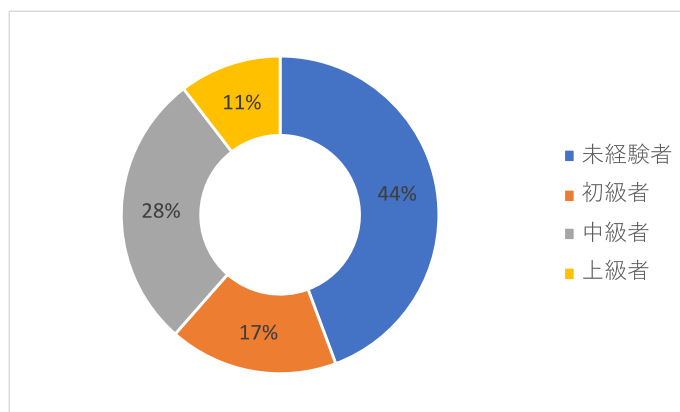
	n	%
簡易な体験	113	57.9
経験者と師範間の交流 体験	49	25.1
経験者間の交流体験	33	16.9
合計	195	100.0



問 6 で「提供している（いた）」と回答した道場が提供しているプログラムの種類として最も多かったプログラムは「簡易な体験」であった（57.9%）。

問 9. 提供しているプログラムの参加者の熟練度

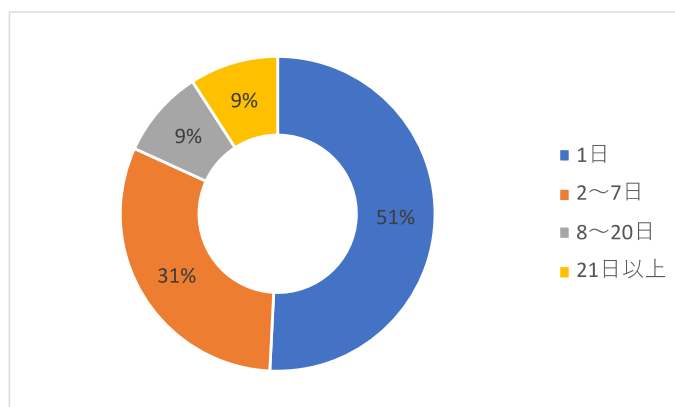
	n	%
未経験者	85	44.3
初級者	33	17.2
中級者	54	28.1
上級者	20	10.4
合計	192	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場が提供しているプログラム参加者の熟練度として最も多かったのは「未経験者」(44.3%)であったが、ある程度経験のある「中級者」や「上級者」も多いことが明らかとなった(中級者と上級者合算:38.5%)。

問 10. 提供しているプログラムの期間

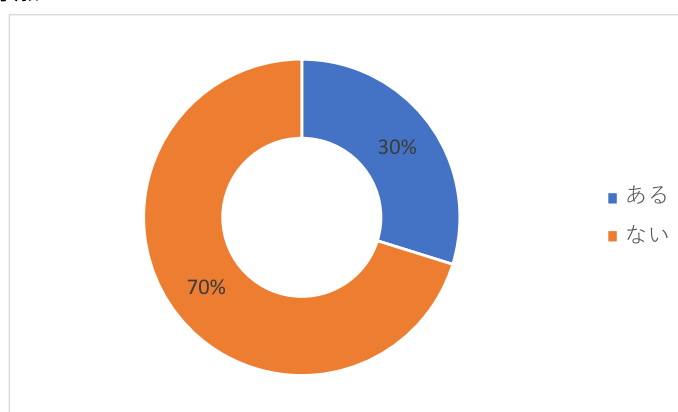
	n	%
1 日	100	50.8
2～7 日	61	31.0
8～20 日	18	9.1
21 日以上	18	9.1
合計	197	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場が提供しているプログラム期間として最も多かったのは「1 日」(50.8%)であった。

問 11. インバウンドに対する専用プログラムの有無

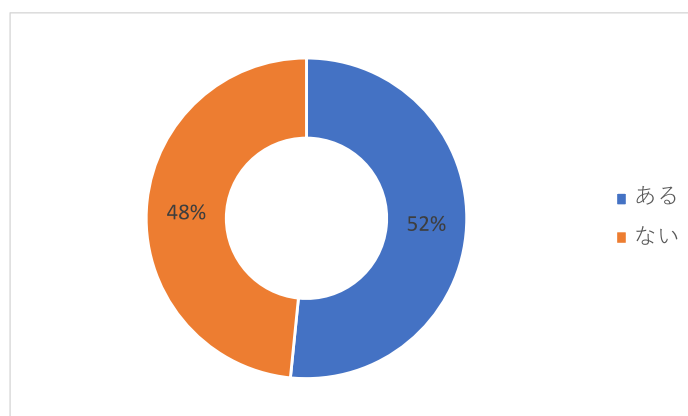
	n	%
ある	59	29.8
ない	139	70.2
合計	198	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場がインバウンドを対象とした専用プログラムを実施しているかを尋ねたところ、「ない」と回答した道場が 7 割を超えた。

問 12. 多言語対応の有無

	n	%
ある	99	51.6
ない	93	48.4
合計	192	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場が多言語対応しているかを尋ねたところ、「ある」が 51.6%、「ない」と回答した道場が 48.4%であった。

問 12-1. 対応している言語(複数回答可)

	n
英語	97
中国語	10
韓国語	1
その他	17
	125

問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で多言語対応している道場のうち、英語で対応している言語が最も多く、その他の記述には、「ドイツ語」や「イタリア語」、「ポルトガル語」、「スペイン語」、「フランス語」などが含まれた。

問 13. 提供しているプログラムの予約方法(複数回答可)

	n
メール	130
電話	98
ウェブサイト	75
その他	32
旅行会社	16
	351

問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場の予約方法として「メール」が最も多く「電話」が次いだ。なお、「その他」の回答には、「友人・知人からの口コミ」が含まれた。

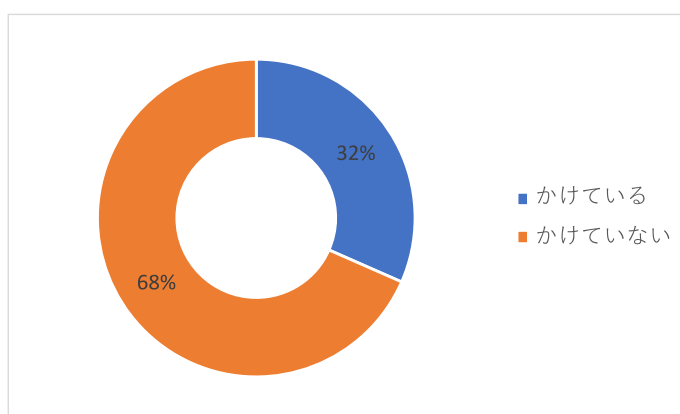
問 14. 提供しているプログラムの参加費の決済方法(複数回答可)

	n
現金	129
銀行振込	36
無料	33
クレジット	14
電子マネー	11
	223

問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場の予約方法として「現金」が最も多く「銀行振込」が次いだ。なお、「クレジット」や「電子マネー」といったキャッシュレス対応している道場は依然として少ない傾向にあることが明らかとなった。

問 15. 提供している参加者に対する保険加入の有無

	n	%
かけている	59	31.6
かけていない	128	68.4
合計	187	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で参加者に対して保険加入をしているかを尋ねたところ、「かけていない」が 7 割近いことが明らかとなった。

問 15-1. 保険をかけていない理由

※自由記述回答のため省略

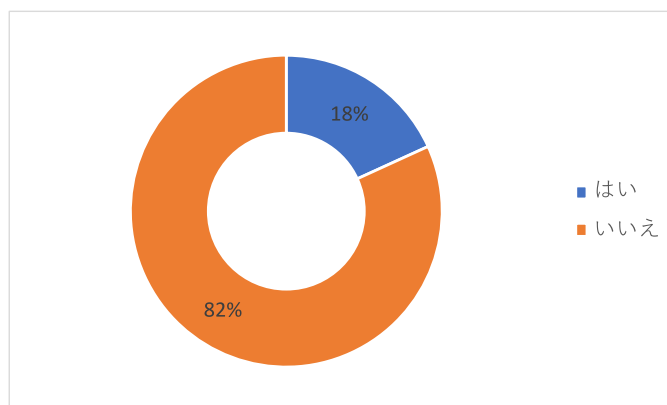
問 16. 提供しているプログラムや道場に関する情報発信方法(複数回答可)

	n
ウェブサイト	131
Facebook	81
その他	53
Youtube	49
Twitter	33
パンフレット	31
雑誌広告	17
旅行会社	9
観光庁	5
	409

問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で、提供しているプログラムや道場に関する情報発信媒体として「ウェブサイト」が最も多く、「Facebook」が次いだ。また、「その他」の回答には「ロコミ」や「インスタグラム」、「特にしていない」が含まれた。

問 17. 宿泊付きプログラムの提供有無

	n	%
はい	36	18.2
いいえ	162	81.8
合計	198	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で宿泊付きプログラムを提供している道場は 18.2%に止まり、多くは提供していないことが明らかとなった。

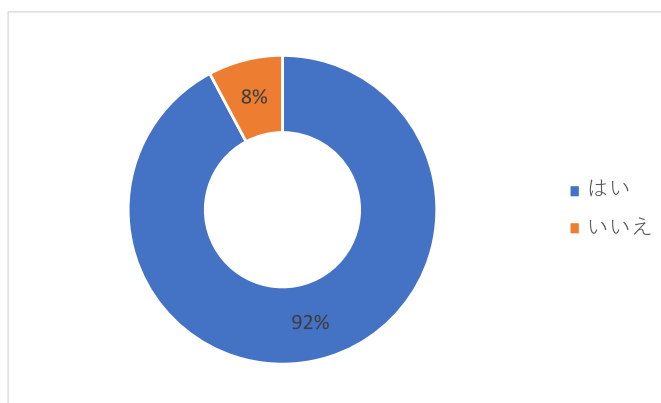
問 17-1. プログラムの宿泊先(複数回答可)

	n
提携のホテル・旅館	18
道場	9
関係者宅	8
その他	5
	40

問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で宿泊付きプログラムを提供している道場のうち、宿泊先として「提携のホテル・旅館」が最も多いことが明らかとなった。

問 18. プログラム提供時の新型コロナウイルス対策の実施有無

	n	%
はい	177	92.2
いいえ	15	7.8
合計	192	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で新型コロナウイルス対策を行なっている道場がほとんどであることが明らかとなった。

問 18-1. 実施している新型コロナウイルス対策(複数回答可)

	n
マスク・フェイスシールド	146
アルコール消毒	131
内容変更	101
プログラム中止	44
その他	41
	463

新型コロナウイルス対策として、「マスク・フェイスシールドの着用」や「アルコール消毒」が多数を占め、「内容変更」をしている道場もあることが明らかとなった。

9

スポーツ庁「地域スポーツコミッションの設立促進及び 自立経営に向けた総合コンサルティング事業」



スポーツ庁は、2021 年度末までに地域スポーツコミッション（SC）を 170 まで拡大することを目指しており、新たに設立を目指す地方自治体及び自立経営を目指す地域 SC に対する総合コンサルティング事業を公募した。

3 月下旬に開始した公募に JSTA は応札し、4 月 27 日に受託候補者に決定した旨の連絡を受ける。

1. 担当部局

スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付地域振興係

2. 業務名

地域スポーツコミッション設立促進及び自立経営に向けた総合コンサルティング事業

3. 委託期間

2021 年 6 月 5 日（金）から 2021 年 3 月 12 日（金）まで

4. 業務内容

①地域 SC の新規設立に向けたコンサルティング

- ・地域 SC の新規設立に向けたプロセスの設計、関係者の合意形成、基本計画の策定等に関し、専門的知見を有する外部専門家による助言、協力、提言等を行う。
- ・少なくとも 1 回は現地にて会議等へ参加又は派遣する。
- ・地域 SC の組織形態や取組状況等を体系的に整理するとともに、新規設立に有効なプロセス、フローチャート、ノウハウ、参考事例、FAQ 等を収めた手引書等を作成する。

②地域 SC の自立経営に向けたコンサルティング

- ・地域 SC の自立経営モデルの構築に向け、収益事業を実行に移すための事業計画の策定、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源の確保等に関し、専門的知見を有する外部専門家による助言、協力、提言等を行う。
- ・会議等への参加要請があった場合、積極的に参加する。
- ・自立経営に有効なプロセス、フローチャート、ノウハウ、参考事例、FAQ 等を収めた手引書等を作成する。

③地域スポーツ組織在り方検討会（仮称）への参画

5. 実施体制

JSTA で実施

6. コンサルティング対象自治体及び団体

総合コンサルティング事業で支援した自治体（新規設立）

自治体名	人口（人）	担当部署
北海道有珠郡壮瞥町	2,427 (2020.1.31)	教育委員会生涯学習課
秋田県大館市	70,327 (2020.1.31)	観光交流スポーツ部スポーツ振興課
茨城県笠間市	73,580 (2020.2.1)	都市建設部都市計画課
石川県羽咋郡宝達志水町	12,784 (2020.1.31)	教育委員会生涯学習課
長野県小県郡長和町	5,891 (2020.2.1)	産業振興課商工観光係
大阪府泉大津市	74,276 (2020.2.1)	教育委員会スポーツ青少年課
島根県松江市	200,595 (2020.1.31)	政策部スポーツ課
高知県土佐郡土佐町	3,782 (2020.1.31)	企画推進課企画調整係
熊本県八代市	125,423 (2020.1.31)	経済文化交流部スポーツ振興課
奈良県宇陀市	12,911 (2020.2.1)	農林商工部観光課
茨城県守谷市 ^{注1}	68,898 (2020.2.1)	—
福島県東白川郡塙町 ^{注2}	8,462 (2020.2.1)	—

注1) 注2) 茨城県守谷市、福島県東白川郡塙町はコンサルティングを希望していない。

総合コンサルティング事業で支援した団体（自立経営）

団体名（自治体名）	人口（人）	自治体担当部署
矢板スポーツコミッション (栃木県矢板市)	31,691 (2020.2.1)	経済建設部商工観光課
(一社) ウェルネススポーツ鴨川 (千葉県鴨川市)	31,622 (2020.2.1)	建設経済部スポーツ振興課
(一社) 宇部市スポーツコミッション (山口県宇部市)	163,026 (2020.2.1)	観光・シティプロモーション推進部文化・スポーツ推進課

7. 成果物

事業報告書及び手引き(スポーツ庁ホームページ掲載)

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/jsa_00049.html

10

熊本県「熊本型スポーツツーリズム推進戦略に係る基礎調査及び戦略案作成業務委託」



10 月初旬に本事業の公募が始まり、JSTA 事務局で検討した結果応札する方向で検討開始。10 月 28 日、常任理事に対して応札する旨を報告。11 月 4 日、熊本県庁にてプレゼンテーションを行う。同日、受託候補者に決定した旨の連絡を受ける。

1. 担当部局

熊本県観光戦略部 観光企画課 スポーツ交流班

2. 業務名

熊本型スポーツツーリズム推進戦略に係る基礎調査及び戦略案作成業務委託

3. 委託期間

2020 年 12 月 1 日(火)から 2021 年 3 月 26 日(金)まで

4. 業務内容

①熊本のポテンシャル調査・分析

- ・スポーツツーリズムに関する全国的なニーズ及び熊本県の現況
- ・熊本県のポテンシャル調査(スポーツ種目、スポーツ施設、観光面)
- ・上記調査を踏まえたターゲットとすべきスポーツ種目、大会、合宿、キャンプ等の選定
- ・その他必要な調査・分析

②熊本型スポーツツーリズム推進戦略案の作成

- ・目的
 - ・背景
 - ・県内の現状
 - ・基本方針
 - ・基本的施策
 - ・施策の具体的内容
- (ロードマップ等、全体概要がわかる図表の作成)

5. 実施体制

日本スポーツツーリズム推進機構、JTB 熊本支店、九州スポーツツーリズム推進協議会の 3 社でのコンソーシアムにて実施。

11 | ヘルスツーリズム認証



JSTA

JSTA は 2018 年より、「ヘルスツーリズム認証」を交付するヘルスツーリズム認証委員会を運営するメンバーとして活動しています。

スポーツ/アクティビティはヘルスツーリズム・プログラムの重要な構成要素です。

＜ヘルスツーリズム認証委員会共同運営組織＞

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構

一般財団法人日本規格協会

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構



○ヘルスツーリズム認証とは



・旅の楽しみに健康へのケアをプラス。ヘルスツーリズム認証は、[旅と健康]という新しい視点から観光商品を客観的に評価する第三者認証サービスです。

- ・ヘルスケアサービスの品質を「見える化」します。
- ・品質保証が、消費者にもプログラム提供者にもメリットをもたらします。
- ・認証マークで旅の楽しみに付加価値をプラスします。

ヘルスツーリズム認証 プログラム一覧(2021 年 5 月現在)

都道府県	市町村	プログラム名	事業所名
青森	五所川原市	DAZAI 健康トレイル青森ひばの神木コース	一般社団法人かなぎ元気村
秋田	三種町	秋田犬と散歩(健康ウォーキング)	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
	三種町	じゅんさい摘み採り体験	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
山形	上山市	カラダにやさしいクアオルト膳とプチ湯治	有限会社有馬館
	上山市	クアオルト健康ウォーキング (空色・暮色ウォーキング)	一般社団法人上山市観光物産協会
	上山市	クアオルトバランス膳・早朝ウォーキング	有限会社彩花亭時代屋
	上山市	クアオルトこんにやく会席箱膳	株式会社丹野こんにやく
	上山市	クアオルトかみのやま会席	株式会社月岡ホテル
福島	朝倉町	ヘルスコンシャスプラン	株式会社ルネサンス棚倉
	北塩原村	多様な水辺・命の森裏磐梯へようこそ	特定非営利活動法人裏磐梯エコツーリズム協会
群馬	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム 一の倉沢ハイキング	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム スノーシューハイキング	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム ノルディックウォーク たくみの里コース	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム ノルディックウォーク 湯宿温泉コース	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム ノルディックウォーク 谷川岳・一の倉沢コース	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム リバーラフティング	一般社団法人みなかみ町体験旅行
千葉	銚子市	ちょうしがよくなるヘルスツーリズム／銚子潮風 ウォーキング	特定非営利活動法人ちょうしがよくなるくらぶ
	南房総市	癒しの森のセラピーウォーキング	一般社団法人南房総健康ラボ
	板橋区	リハビリ旅行	リハビリ推進センター株式会社
新潟	妙高市	妙高型健康保養地プログラム	一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント
富山	富山市	とやま健泊@立山山麓	株式会社アピアスポーツクラブ
石川	小松市	楽しく「歩ける」生涯スポーツゴルフと「心と体の食」 再発見の旅	北國リゾート開発株式会社
長野	上田市	バディケアと300年目に復興した 信州巡礼 de 楽しく元気に健康歩行	一般社団法人日本バディケア協会
	飯山市	なべくら高原 森林セラピー散策	一般社団法人信州いいやま観光局
	飯山市	斑尾高原 標高1000mのブナの森で森林ヨガ	一般社団法人信州いいやま観光局
	飯山市	北竜湖 ハート型の湖で健康ヨガ	一般社団法人信州いいやま観光局
	茅野市	健康いきいき診断プログラム体力年齢アップ 健康運動コース	株式会社池の平ホテル&リゾート

長野	木曽町	木曽開田高原健康ウォーキング	一般社団法人木曽おんたけ健康ラボ
	北安曇郡 池田町	ハーバルウェルネスリトリート	株式会社 SouGo
三重	明和町	ココロとカラダを整える 「大淀海岸タラソテラピーウォーク」	一般社団法人明和観光商会
京都	京丹後市	海の京都「百寿人生のレシピ」体感プログラム	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社
大阪	高槻市	サンスター心身健康道場一日体験	サンスター株式会社
兵庫	神戸市	ウェルネスウォーキング	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	乳がんリハビリヨガ	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	体力測定・運動能力チャレンジプログラム	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	ランニングクリニック	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	多可町	”不良長寿の道”多可の森健康ウォーキング	一般社団法人多可の森健康協会
和歌山	田辺市	熊野古道健康ウォーキング	特定非営利活動法人熊野で健康ラボ
島根	大田市	OHDA made の旅 琴ヶ浜ヘルスツーリズム	一般社団法人島根おおだ健康ビューロー
	大田市	OHDA made の旅 三瓶山ヘルスツーリズム	一般社団法人島根おおだ健康ビューロー
岡山	玉野市	たまの海走浴～サイクリング×ボディメイク× 瀬戸内食×美人の湯	一般社団法人玉野コミュニティ・デザイン
熊本	阿蘇村	大自然阿蘇健康の森 基本プラン 3泊4日	株式会社阿蘇ファームランド
大分	竹田市	こころ・からだよみがえる健康ながゆ旅	特定非営利活動法人竹田市観光ツーリズム協会
鹿児島	西之表市	種子島ナチュラレドトックス満喫プラン	株式会社 SOMES

※初回認証から3年間有効(更新後は2年間有効)。

認証取得後、1年ごとに認証体制が維持されていることを確認するためにサーベランス審査を行います。

また、認証の更新可否を判断するため初回認証取得から3年後に更新審査を行います。

12 | JSTA ウェビナー



2020年度実施の JSTA セミナーはすべてウェビナー形式で実施

2020年度 第1回 JSTA ウェビナー

「新しい生活様式とスポーツツーリズム」

日 時： 2020年6月26日（金） 14:30～15:30

会 場： オンライン形式（Zoom ウェビナー）

○登壇者（JSTA セミナー委員）

川杉 章 委員

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 営業推進部 アカウントプロデュース局

藤口 光紀 委員

広島経済大学 経営学部スポーツ経営学科 教授

山下 真輝 委員

株式会社 JTB 総合研究所 主席研究員

○コーディネーター

原田 宗彦

JSTA 代表理事／早稲田大学 スポーツ科学学院 教授



○動画全編公開 URL

<https://www.youtube.com/watch?v=WVnGrcBQoqk>

2020年度 第2回 JSTA ウェビナー

「With コロナ時代のツーリズム ～新たな時代の旅の経験価値を考える～」

日 時: 2020年9月4日(金) 15:00～16:30

会 場: オンライン形式 (Zoom ウェビナー)



○登壇者

『ヘルスケアからワーケーションへ』

高橋 伸佳 氏

NPO 法人日本ヘルスツーリズム振興機構 業務執行担当理事

『世界で注目されるアドベンチャーツーリズム市場』

山下 真輝 氏

一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事

○コーディネーター

原田 宗彦

JSTA 代表理事／早稲田大学 スポーツ科学学院 教授



2020年度 第3回 JSTA ウェビナー

「With コロナ時代のスポーツイベント最前線」

日 時：2020年11月6日（金）15:00～16:30

会 場：オンライン形式（Zoom ウェビナー）

第3回 JSTAウェビナー
Withコロナ時代の
スポーツイベント最前線

原田 宗彦
一般社団法人
日本スポーツツーリズム推進機構
代表理事

中島 祥元氏
株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパン
代表取締役

藤本 光正氏
株式会社栃木ブレックス
代表取締役社長

2020.11.6 FRI 15:00～16:30

○登壇者

『コロナ禍における「DO スポーツイベント」主催会社のリアル』

中島 祥元氏

株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパン 代表取締役

『コロナ禍におけるプロスポーツチーム経営のリアル』

藤本 光正氏

株式会社栃木ブレックス 代表取締役社長

○コーディネーター

原田 宗彦

JSTA 代表理事／早稲田大学 スポーツ科学学院 教授

13 | 2020年度 JSTA 会員一覧



法人		公益法人	
1	アシックスジャパン株式会社	1	特定非営利活動法人出雲スポーツ振興 21
2	株式会社梓設計	2	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構
3	EY アドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社	3	一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川
4	株式会社 ADK マーケティングソリューションズ	4	一般社団法人宇部市スポーツコミッション
5	株式会社近宣	5	大分県スポーツ合宿誘致推進協議会
6	クリヤマ株式会社	6	おかやまスポーツプロモーション機構
7	株式会社クリーン工房	7	一般財団法人関西観光本部
8	クロススポーツマーケティング株式会社	8	一般社団法人九州スポーツツーリズム推進協議会
9	株式会社 JTB	9	株式会社くまもと DMC
10	株式会社スポーツニッポン新聞社	10	一般社団法人さいたまスポーツコミッション
11	SPORTEC 株式会社	11	静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会
12	株式会社セレスポ	12	静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会
13	全日本空輸株式会社	13	スポーツコミッション青森
14	株式会社ゼンリン	14	スポーツコミッション関西
15	大日本印刷株式会社	15	スポーツコミッションせんだい
16	株式会社ダスキン	16	一般社団法人世羅町観光協会
17	株式会社電通	17	特定非営利活動法人地域政策イノベーションフォーラム
18	東亜道路工業株式会社	18	一般財団法人千葉県まちづくり公社
19	東武トップツアーズ株式会社	19	特定非営利活動法人銚子スポーツコミュニティ
20	凸版印刷株式会社	20	十日町市スポーツコミッション
21	日本航空株式会社	21	公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
22	株式会社日本総合研究所	22	長崎県スポーツコミッション
23	株式会社日本旅行	23	公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー
24	株式会社八咲	24	新潟市文化・スポーツコミッション
25	株式会社ヒト・コミュニケーションズ	25	一般社団法人日本イベント産業振興協会
26	株式会社ファースト	26	一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会
27	株式会社フジヤ	27	一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会
28	株式会社フューチャーセッションズ	28	一般社団法人日本ツーリズム協会
29	株式会社ブリックス	29	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
30	株式会社マイナビ	30	前橋スポーツコミッション
31	ミズノ株式会社	31	一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン
32	三井住友海上火災保険株式会社	32	国立大学法人和歌山大学国際観光光学研究センター
33	株式会社モンベル		

スポーツ団体		自治体	
1	MLB JAPAN	22	豊岡市
2	沖縄県サイクリング協会	23	豊田市
3	サイバーダイン茨城ロボッツ (B.LEAGUE)	24	長野県
4	世界野球ソフトボール連盟 (WBSC)	25	奈良県
5	公益財団法人全日本空手道連盟	26	成田市
6	一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会	27	新潟県
7	一般社団法人日本スノースポーツ&リゾーツ協議会	28	浜松市
8	日本ダンス技能向上委員会	29	美唄市
9	公益社団法人日本トライアスロン連合	30	姫路市
10	公益財団法人日本バレーボール協会	31	三重県
11	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構	32	三島市
12	日本フリースタイルフットボール協会	33	水戸市
13	公益社団法人日本プロサッカーリーグ	34	妙高市
14	PSA ASIA (プロスノーボーダーズ アソシエーション アジア)	35	盛岡広域スポーツコミッション
自治体		36	矢板市
1	愛知県	37	山梨県
2	小山市	38	由利本荘市 (由利本荘市スポーツ・ヘルスコミッション)
3	茨城県	39	横浜市
4	岩手県 (いわてスポーツコミッション)	2021 年 3 月現在 法人会員・スポーツ団体・公益法人・自治体のみ掲載	
5	上田市		
6	大館市		
7	岡山市		
8	鹿児島市		
9	金沢市 (金沢文化スポーツコミッション)		
10	香美町		
11	岐阜県		
12	熊谷市 (熊谷スポーツコミッション)		
13	熊本県		
14	黒潮町		
15	佐賀県 (佐賀県スポーツコミッション)		
16	札幌市		
17	静岡県		
18	館山市		
19	千歳市		
20	千葉市		
21	鳥取県		